

報告 1 教育課程

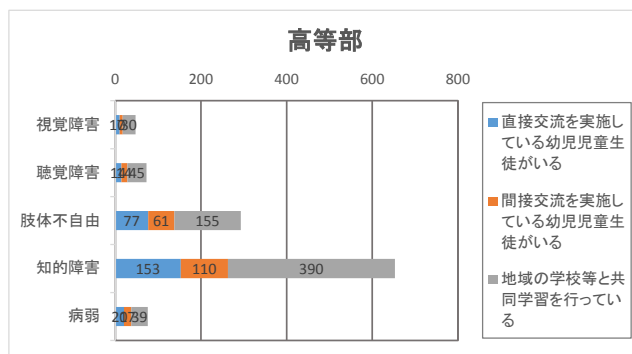
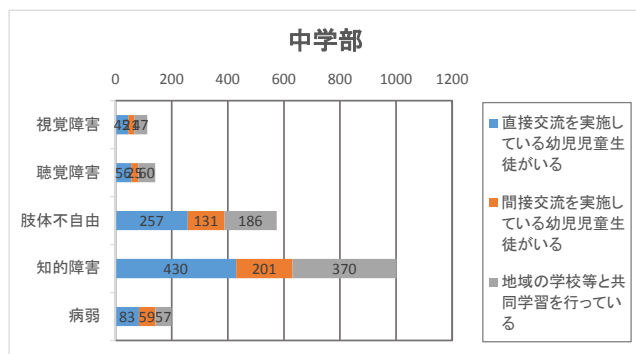
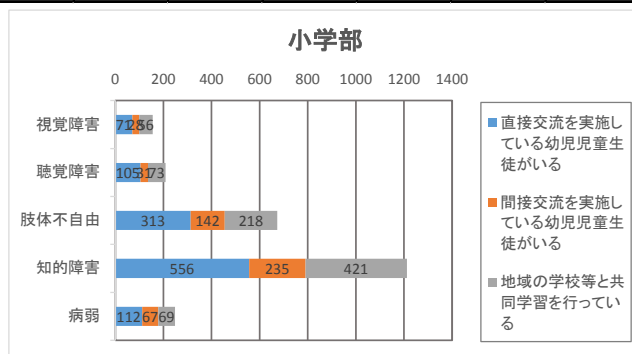
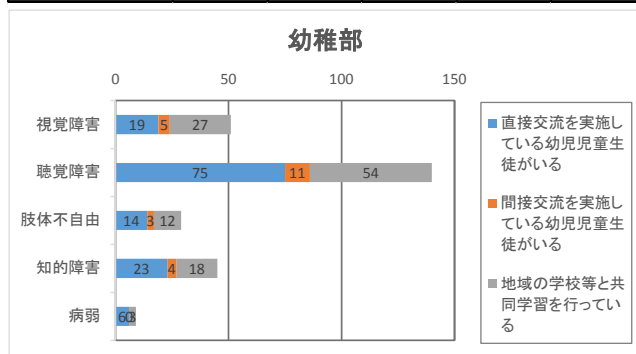
はじめに

本調査は 1220 校の特別支援学校から得られた解答を集計・分析した調査報告である。

「教育課程」の報告では、幼稚部から高等部までの種別ごとに、「交流」「学習形態」を主な軸として調査を行った。具体的には『各学部における交流及び共同学習の形態』、『交流及び共同学習の相手先』や、キャリア教育、防災教育についての設問がある。

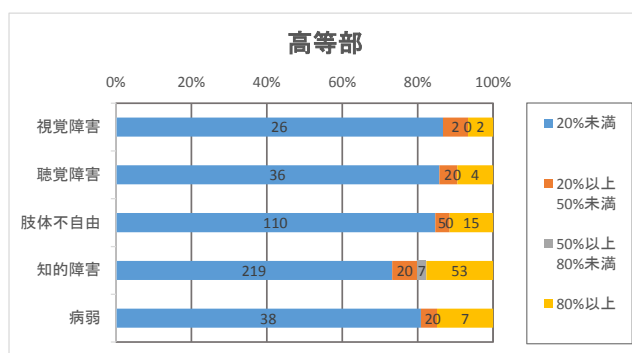
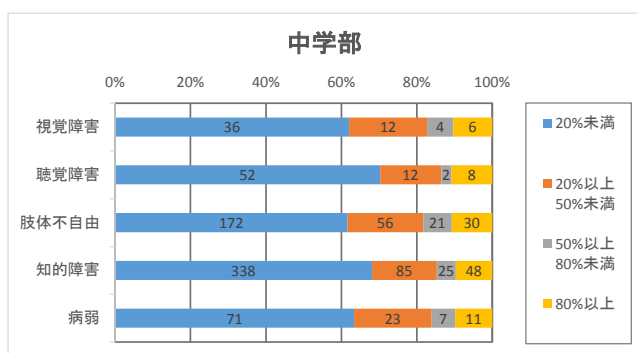
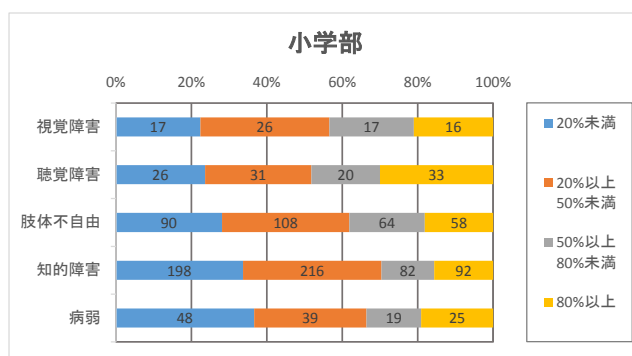
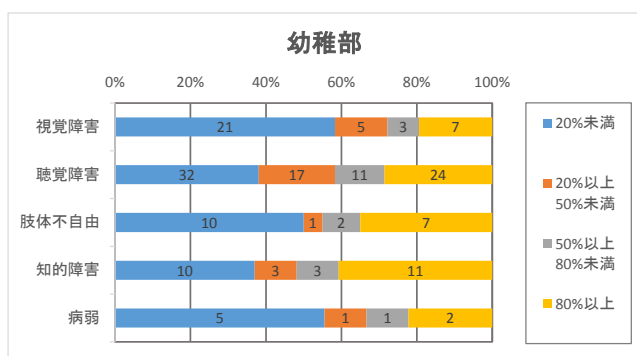
【29】各学部における交流及び共同学習の形態を教えてください。

	幼稚部			小学部			中学部			高等部		
	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている	直接交流を実施している幼児児童生徒がいる	間接交流を実施している幼児児童生徒がいる	地域の学校等と共同学習を行っている
合計	100	18	92	862	375	646	643	324	558	222	158	521
%	(68)	(12.2)	(62.6)	(89.3)	(38.9)	(66.9)	(72.8)	(36.7)	(63.2)	(30.9)	(22)	(72.5)
視覚障害	19	5	27	71	28	56	45	21	47	10	7	30
%	(48.7)	(12.8)	(69.2)	(89.9)	(35.4)	(70.9)	(64.3)	(30)	(67.1)	(24.4)	(17.1)	(73.2)
聴覚障害	75	11	54	105	31	73	56	25	60	14	14	45
%	(78.9)	(11.6)	(56.8)	(94.6)	(27.9)	(65.8)	(61.5)	(27.5)	(65.9)	(23.3)	(23.3)	(75)
肢体不自由	14	3	12	313	142	218	257	131	186	77	61	155
%	(73.7)	(15.8)	(63.2)	(93.7)	(42.5)	(65.3)	(80.6)	(41.1)	(58.3)	(33.9)	(26.9)	(68.3)
知的障害	23	4	18	556	235	421	430	201	370	153	110	390
%	(82.1)	(14.3)	(64.3)	(91.4)	(38.7)	(69.2)	(76)	(35.5)	(65.4)	(29.4)	(21.1)	(74.9)
病弱	6	0	3	112	67	69	83	59	57	20	17	39
%	(85.7)	(0)	(42.9)	(85.5)	(51.1)	(52.7)	(69.2)	(49.2)	(47.5)	(32.3)	(27.4)	(62.9)



【31】 在籍している幼児児童生徒のうち、直接交流をしている者の割合はどの程度ですか。

	幼稚部				小学部				中学部				高等部			
	20%未満	20%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上	20%未満	20%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上	20%未満	20%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上	20%未満	20%以上 50%未満	50%以上 80%未満	80%以上
合計	60	21	14	37	312	315	154	149	517	141	43	73	343	24	7	65
%	(45.5)	(15.9)	(10.6)	(28)	(33.5)	(33.9)	(16.6)	(16)	(66.8)	(18.2)	(5.6)	(9.4)	(78.1)	(5.5)	(1.6)	(14.8)
視覚障害	21	5	3	7	17	26	17	16	36	12	4	6	26	2	0	2
%	(58.3)	(13.9)	(8.3)	(19.4)	(22.4)	(34.2)	(22.4)	(21.1)	(62.1)	(20.7)	(6.9)	(10.3)	(86.7)	(6.7)	(0)	(6.7)
聴覚障害	32	17	11	24	26	31	20	33	52	12	2	8	36	2	0	4
%	(38.1)	(20.2)	(13.1)	(28.6)	(23.6)	(28.2)	(18.2)	(30)	(70.3)	(16.2)	(2.7)	(10.8)	(85.7)	(4.8)	(0)	(9.5)
肢体不自由	10	1	2	7	90	108	64	58	172	56	21	30	110	5	0	15
%	(50)	(5)	(10)	(35)	(28.1)	(33.8)	(20)	(18.1)	(61.6)	(20.1)	(7.5)	(10.8)	(84.6)	(3.8)	(0)	(11.5)
知的障害	10	3	3	11	198	216	82	92	338	85	25	48	219	20	7	53
%	(37)	(11.1)	(11.1)	(40.7)	(33.7)	(36.7)	(13.9)	(15.6)	(68.1)	(17.1)	(5)	(9.7)	(73.2)	(6.7)	(2.3)	(17.7)
病弱	5	1	1	2	48	39	19	25	71	23	7	11	38	2	0	7
%	(55.6)	(11.1)	(11.1)	(22.2)	(36.6)	(29.8)	(14.5)	(19.1)	(63.4)	(20.5)	(6.3)	(9.8)	(80.9)	(4.3)	(0)	(14.9)

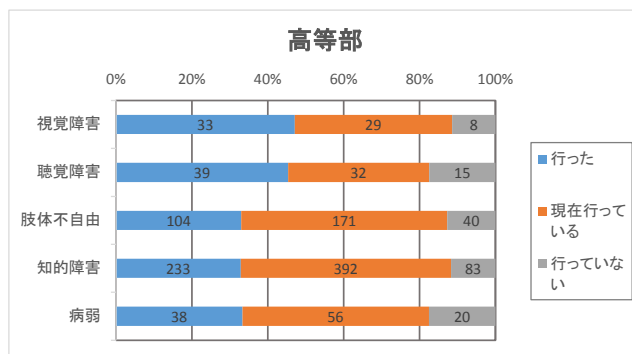
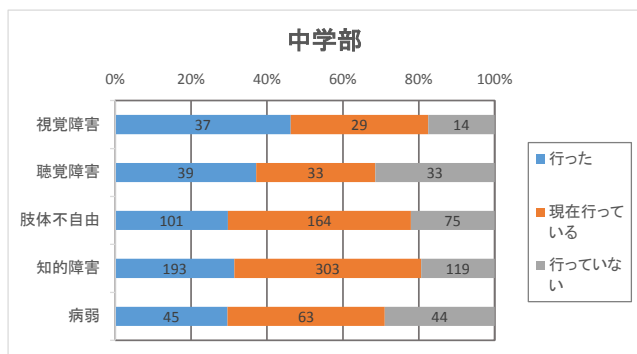
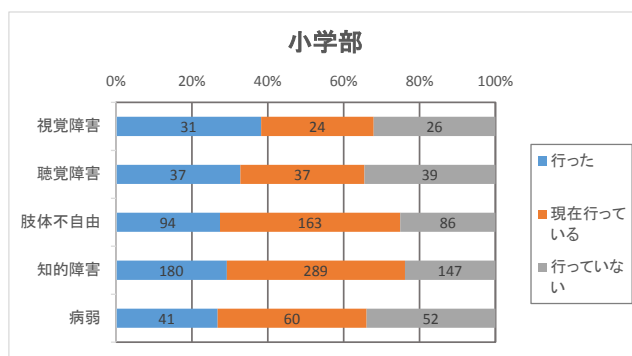
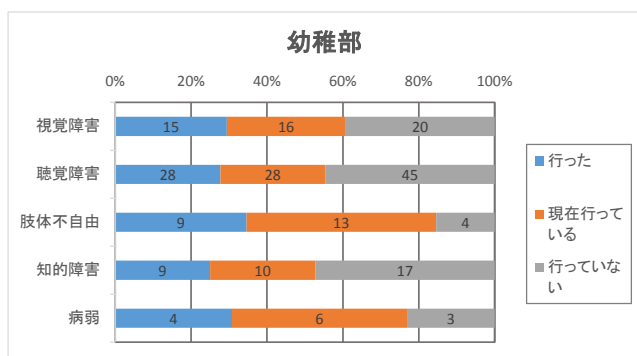


幼稚部から高等部へ、学年が上がるにつれて直接交流の機会は減っていく傾向にある。

幼稚部、小学部の時点では各種別ごとに割合にばらつきがあったものの、中学部、高等部になると一様に「20%未満」が多くを占めていることがわかる。

【32】キャリア教育の視点から、教育課程の見直しを行っていますか。《単一選択》

	幼稚園			小学部			中学部			高等部		
	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない	行った	現在行っている	行っていない
合計	47	53	71	282	464	254	305	474	208	339	541	132
%	(27.5)	(31)	(41.5)	(28.2)	(46.4)	(25.4)	(30.9)	(48)	(21.1)	(33.5)	(53.5)	(13)
視覚障害	15	16	20	31	24	26	37	29	14	33	29	8
%	(29.4)	(31.4)	(39.2)	(38.3)	(29.6)	(32.1)	(46.3)	(36.3)	(17.5)	(47.1)	(41.4)	(11.4)
聴覚障害	28	28	45	37	37	39	39	33	33	39	32	15
%	(27.7)	(27.7)	(44.6)	(32.7)	(32.7)	(34.5)	(37.1)	(31.4)	(31.4)	(45.3)	(37.2)	(17.4)
肢体不自由	9	13	4	94	163	86	101	164	75	104	171	40
%	(34.6)	(50)	(15.4)	(27.4)	(47.5)	(25.1)	(29.7)	(48.2)	(22.1)	(33)	(54.3)	(12.7)
知的障害	9	10	17	180	289	147	193	303	119	233	392	83
%	(25)	(27.8)	(47.2)	(29.2)	(46.9)	(23.9)	(31.4)	(49.3)	(19.3)	(32.9)	(55.4)	(11.7)
病弱	4	6	3	41	60	52	45	63	44	38	56	20
%	(30.8)	(46.2)	(23.1)	(26.8)	(39.2)	(34)	(29.6)	(41.4)	(28.9)	(33.3)	(49.1)	(17.5)



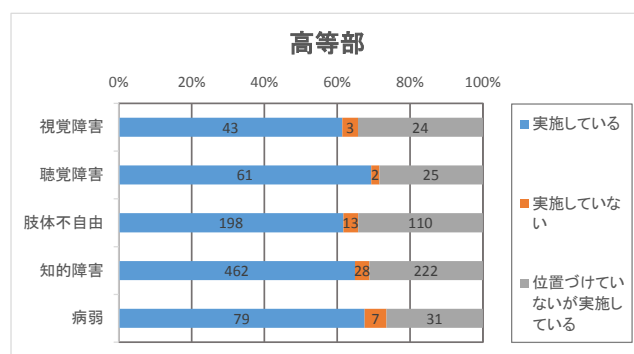
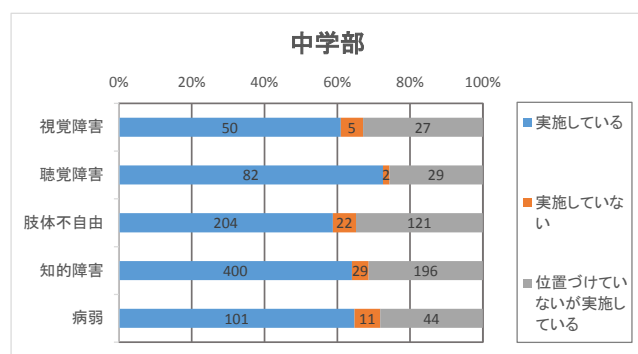
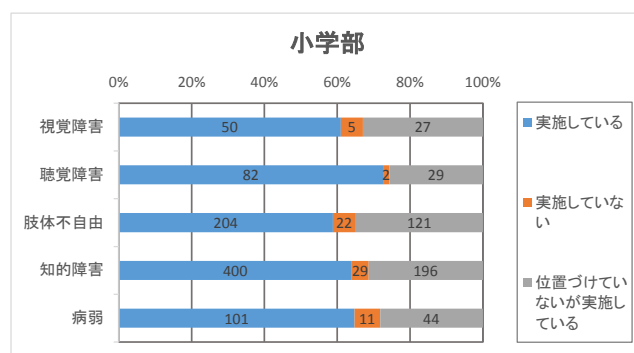
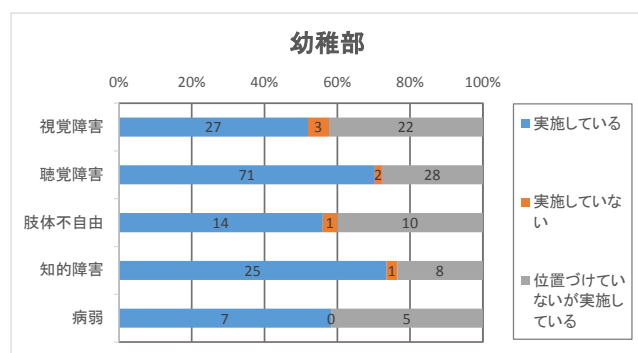
小学部以降、どの種別でも「行った」「現在行っている」の割合が高く、多くの学校で教育課程の見直しが行われている、あるいは実施中ということがわかる。

また、微減ではあるが学年が上がるにつれて「行っていない」件数も減っている。

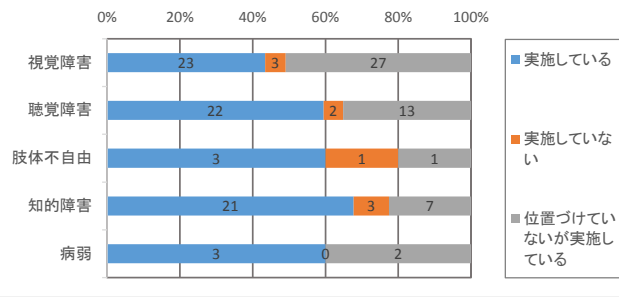
【33】防災教育を教育課程に位置づけて、実施していますか。《単一選択》

	幼稚部			小学部			中学部		
	実施している	実施していない	位置づけていないが実施している	実施している	実施していない	位置づけていないが実施している	実施している	実施していない	位置づけていないが実施している
合計	108	5	57	651	48	312	639	50	307
%	(63.5)	(2.9)	(33.5)	(64.4)	(4.7)	(30.9)	(64.2)	(5)	(30.8)
視覚障害	27	3	22	50	5	27	50	5	26
%	(51.9)	(5.8)	(42.3)	(61)	(6.1)	(32.9)	(61.7)	(6.2)	(32.1)
聴覚障害	71	2	28	82	2	29	76	3	26
%	(70.3)	(2)	(27.7)	(72.6)	(1.8)	(25.7)	(72.4)	(2.9)	(24.8)
肢体不自由	14	1	10	204	22	121	206	19	118
%	(56)	(4)	(40)	(58.8)	(6.3)	(34.9)	(60.1)	(5.5)	(34.4)
知的障害	25	1	8	400	29	196	396	33	193
%	(73.5)	(2.9)	(23.5)	(64)	(4.6)	(31.4)	(63.7)	(5.3)	(31)
病弱	7	0	5	101	11	44	101	11	42
%	(58.3)	(0)	(41.7)	(64.7)	(7.1)	(28.2)	(65.6)	(7.1)	(27.3)

	高等部			専攻科		
	実施している	実施していない	位置づけていないが実施している	実施している	実施していない	位置づけていないが実施している
合計	656	43	319	64	6	45
%	(64.4)	(4.2)	(31.3)	(55.7)	(5.2)	(39.1)
視覚障害	43	3	24	23	3	27
%	(61.4)	(4.3)	(34.3)	(43.4)	(5.7)	(50.9)
聴覚障害	61	2	25	22	2	13
%	(69.3)	(2.3)	(28.4)	(59.5)	(5.4)	(35.1)
肢体不自由	198	13	110	3	1	1
%	(61.7)	(4)	(34.3)	(60)	(20)	(20)
知的障害	462	28	222	21	3	7
%	(64.9)	(3.9)	(31.2)	(67.7)	(9.7)	(22.6)
病弱	79	7	31	3	0	2
%	(67.5)	(6)	(26.5)	(60)	(0)	(40)



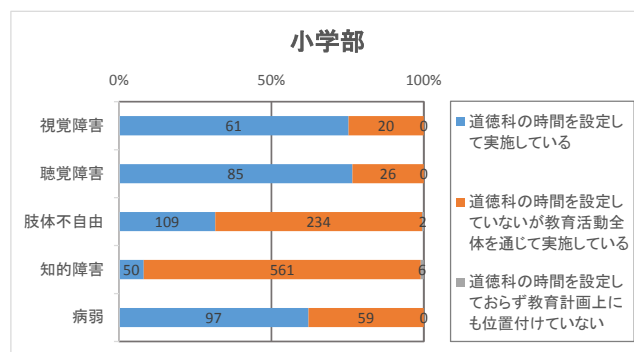
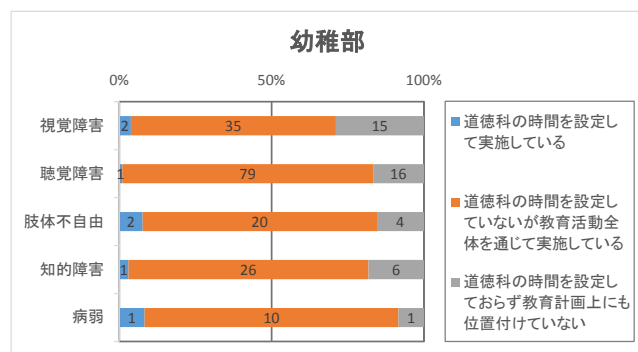
専攻科



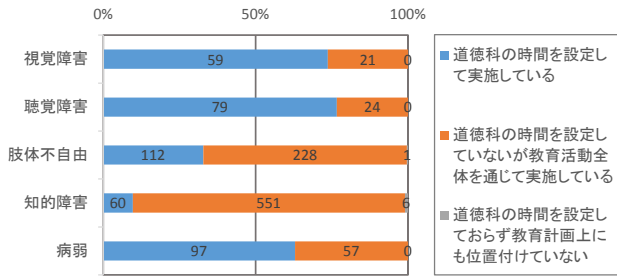
【34】 道徳教育の実施状況について 《単一選択》

	幼稚園			小学部			中学部		
	道徳科の時間を設定して実施している	道徳科の時間を設定していないが教育活動全体を通じて実施している	道徳科の時間を設定しておらず教育計画にも位置付けていない	道徳科の時間を設定して実施している	道徳科の時間を設定していないが教育活動全体を通じて実施している	道徳科の時間を設定しておらず教育計画にも位置付けていない	道徳科の時間を設定して実施している	道徳科の時間を設定していないが教育活動全体を通じて実施している	道徳科の時間を設定しておらず教育計画にも位置付けていない
合計	4	130	31	316	681	6	321	664	6
%	(2.4)	(78.8)	(18.8)	(31.5)	(67.9)	(0.6)	(32.4)	(67)	(0.6)
視覚障害	2	35	15	61	20	0	59	21	0
%	(3.8)	(67.3)	(28.8)	(75.3)	(24.7)	(0)	(73.8)	(26.3)	(0)
聴覚障害	1	79	16	85	26	0	79	24	0
%	(1)	(82.3)	(16.7)	(76.6)	(23.4)	(0)	(76.7)	(23.3)	(0)
肢体不自由	2	20	4	109	234	2	112	228	1
%	(7.7)	(76.9)	(15.4)	(31.6)	(67.8)	(0.6)	(32.8)	(66.9)	(0.3)
知的障害	1	26	6	50	561	6	60	551	6
%	(3)	(78.8)	(18.2)	(8.1)	(90.9)	(1)	(9.7)	(89.3)	(1)
病弱	1	10	1	97	59	0	97	57	0
%	(8.3)	(83.3)	(8.3)	(62.2)	(37.8)	(0)	(63)	(37)	(0)

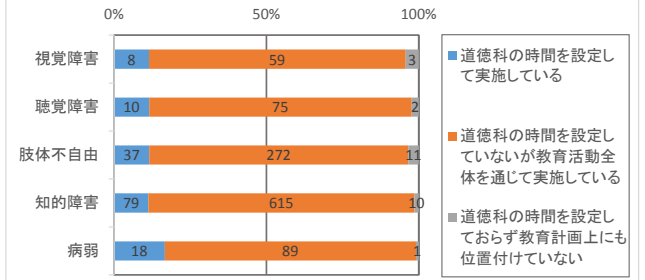
	高等部			専攻科		
	道徳科の時間を設定して実施している	道徳科の時間を設定していないが教育活動全体を通じて実施している	道徳科の時間を設定しておらず教育計画にも位置付けていない	道徳科の時間を設定して実施している	道徳科の時間を設定していないが教育活動全体を通じて実施している	道徳科の時間を設定しておらず教育計画にも位置付けていない
合計	121	860	22	8	67	27
%	(12.1)	(85.7)	(2.2)	(7.8)	(65.7)	(26.5)
視覚障害	8	59	3	1	30	22
%	(11.4)	(84.3)	(4.3)	(1.9)	(56.6)	(41.5)
聴覚障害	10	75	2	2	28	2
%	(11.5)	(86.2)	(2.3)	(6.3)	(87.5)	(6.3)
肢体不自由	37	272	11	1	2	0
%	(11.6)	(85)	(3.4)	(33.3)	(66.7)	(0)
知的障害	79	615	10	6	13	3
%	(11.2)	(87.4)	(1.4)	(27.3)	(59.1)	(13.6)
病弱	18	89	1	1	2	0
%	(16.7)	(82.4)	(0.9)	(33.3)	(66.7)	(0)



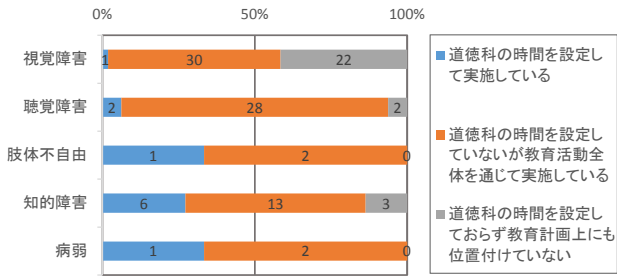
中学部



高等部

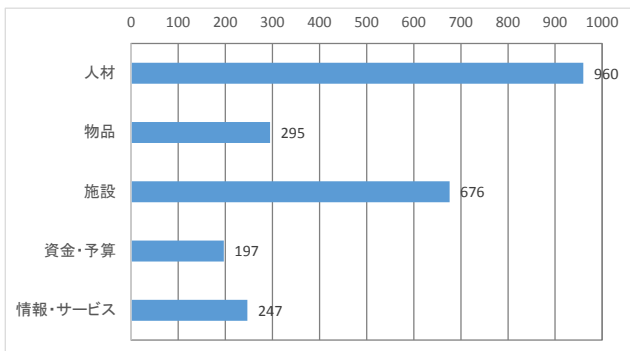


専攻科



【35】「社会に開かれた教育課程」を編成するために Q64（人事厚生）で回答する外部専門家以外の地域の人材や資源（物品、施設設備、資金・予算、情報・サービス）を活用していますか。

	人材	物品	施設	資金・予算	情報・サービス
合計	739	223	525	152	191
%	(89.7)	(27.1)	(63.7)	(18.4)	(23.2)
視覚障害	49	16	39	9	12
%	(86)	(28.1)	(68.4)	(15.8)	(21.1)
聴覚障害	76	19	41	14	21
%	(95)	(23.8)	(51.3)	(17.5)	(26.3)
肢体不自由	227	68	147	45	63
%	(90.4)	(27.1)	(58.6)	(17.9)	(25.1)
知的障害	508	167	392	111	131
%	(89.6)	(29.5)	(69.1)	(19.6)	(23.1)
病弱	100	25	57	18	20
%	(92.6)	(23.1)	(52.8)	(16.7)	(18.5)



さいごに

本調査で防災教育自体を教育課程の位置づけの中で実施していない学校も存在することが判明した。

しかし、【34】の道徳教育についても、教育課程の位置づけでは実施されていない学校も少なからずあるため、そもそもの教育課程の基準を精査する必要があるだろう。

多くの学校で教育課程の見直しを行った／行っていることからそれぞれが問題意識を持って対応している、とも読み取れる。

【本集計に関する特記事項】

※1校で「障害種別」を複数回答されている為、各障害種別の「合計」と、「回答校数合計」の数量は一致しません。

※複数回答されている設問のため、各設問の「合計」と、「回答校数合計」の数量は異なります。